

12月21日 「無ガム中」大作戦ボランティア

例年12月下旬に行われている瑞浪市青少年育成市民会議環境部会主催の「無ガム中」大作戦が、この日行われました。



瑞浪駅周辺にはガムが吐き捨てられ、それが時間と共に固まったあとが無数についています。一見するとガムに見えず、黒い斑点に思えますが、これが長年こびりついたガムなのです。駅前、地下道、階段、アーケードの下などに広がっています。

今年度、瑞浪北中だけではなく、瑞浪中、瑞浪高校からボランティアが集まり、固くこびりついたガムをはがしました。瑞浪北中からは17名のボランティアが参加し、駅前の現状を確かめるとともに、はがし作業に汗を流しました。

約1時間の活動でしたが、これをするのとやらないとでは大きな違いがあります。はがすガムの量は知れています。しかし、中高生が取り組んでいる姿を道行く人に見せることによって、ガムを捨てる気持ちにさせないこと、つまりガムを捨てることの抑止力になっているのです。



毎年この活動を積み重ねることによって、少しずつですがこびりついたガムの量は減少しています。今後新しく捨てられることがなければ、いつかははがしきることができるはず。ふるさとを愛する気持ちは、こういう取り組みにも表れているのです。